

鈴木(3^{学年})アジア準優勝 古田(6^年)全日本2連覇

空道・鈴木道場(おいらせ)2選手

総合格闘技「空道」のアジア選手権(3日・東京)で、大道塾三沢支部「鈴木道場」(おいらせ町、鈴木克史支部長)の鈴木誠士(八戸学院大3年)が準優勝した。同じ日程・会場で行われた全日本ジュニア選手権では、同道場の古田凜太郎(古間木小6年)が2連覇を果たし、大会MVPの1回戦は裸締めで一本勝ち。続く準決勝ではワールドカップ3位の韓国選手に優勢勝ちした。

決勝の相手は大道塾総本部道場(東京)所属の強豪選手。ボディへのパンチを起点に膝蹴りなどでたたみかけられ、「優勝できず悔しい。壁は高かった」と振り返った。

今後は、本県で来年行われる国民スポーツ大会に照準を合わせる。「空道の会場は八戸市。地元で優勝したい」と力を込めた。

全日本ジュニアでU12男子47kg以下に出場した古田は、得意の膝蹴りなどで1回戦と準決勝をKO勝ち。決勝も相手を圧倒した。「集中して試合に入れた。MVPを取れてうれしい」と話した。

(渡部雅士)



アジア大会で準優勝した誠士(左)と全日本ジュニアで2連覇した古田